

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和6年度第1回）議事録

1 日時 令和6年6月20日 午後2時から午後4時まで

2 場所 WEBによるオンライン会議

3 出席者

(委員) 津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員、松村委員

(東京都) 名取課長、足立課長代理、藤島主任

4 議題

- (1) 低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定申請の状況
- (2) 低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査

5 議事

○足立課長代理 では、定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第1回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議の進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行をさせていただきます、事務局の、私、東京都環境局環境改善部大気保全課の足立と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本年4月より担当させていただきます。

本日は、委員の皆様全員に出席していただいております。

議事に入る前に、本日の会議についてご説明させていただきます。

この会議は、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして、公開いたします。ただし、議事(2)の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、非公開といたします。また、同要領第8の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示情報に該当する場合を除き、原則として公開いたしますので、お含みおきくださいませ。

開会に当たりまして、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取より一言ご挨拶申し上

げます。

○名取課長 皆さん、こんにちは。

本年4月に大気保全課長に着任いたしました名取でございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

本日はお忙しい中、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様ご承知のとおり、本認定制度は平成元年度から開始しておりまして、この間、時代に合わせて基準の設定、それから対象を見直しながら続けてきているものとなります。これまでの認定機器数は800機種を超えておりまして、環境性能の高い機器の普及促進を通して都内の大気汚染、大気環境の改善に寄与してきたものと考えております。

近年では、水素燃料の危機を対象とした新たな認定区分であるグレードH、グレードHHを設けまして、これらについてもこれまでに10機種認定しております。水素を燃料とするボイラー等の申請も着実に増えてきているところでございます。この水素燃料機器に関しては、産業労働局の設備導入促進事業などにおきましても、今年度より本認定を受けた水素燃料の温水発生機が補助対象に追加されたり、それから水素燃料ボイラーについても補助上限額が引き上げられるなど、利用が拡充してきている状況にございます。

それから、本制度、長年続けておりますけれども、アジアの国とか都市の機関から、この制度の内容について聞きたいというようなお引き合いを、今年度になってからも既に数件いただいておりまして、国際的に見ても依然として注目に値する事業なんだなということを改めて認識しているところでございます。

都としましては、引き続きこの制度を着実に運用しまして、NO_xやCO₂の排出が少ない環境性能の高い機器の開発や導入を促進していきたいと考えておりますので、引き続き委員の皆様のご協力をいただけましたら幸いでございます。

さて、本日の認定委員会では、ガスヒートポンプ1件の認定審査を予定をしております。前回同様、このようなウェブ会議となりますけれども、ご協力をいただけましたら幸いでございます。委員の皆様には、忌憚のないご意見、ご議論をいただきますようお願いします、私からの挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいいたします。

○足立課長代理 続いて、ウェブ会議の注意事項を3点申し上げます。

1つ目、資料は情報セキュリティ対策のため、画面には映写できません。別途郵送して

おりますので、そちらをご覧いただければと思います。

2つ目、会議中は音声をミュートにしていただきまして、ご発言の際はミュートを解除してご発言ください。

3つ目、会議中に音声が聞き取りづらいといったような不具合がございましたら、随時事務局までお知らせいただけますと幸いです。

説明は以上でございます。

次に、都において本年4月に人事異動がございましたので、都の職員を紹介いたします。

先ほどご挨拶させていただきましたが、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取でございます。

○名取課長 名取です。よろしくお願ひいたします。

○足立課長代理 本来でしたら、ここで事務局のメンバーであります大気保全課大気担当主任の藤島を紹介させていただきたいと思っておったのですが、ただいまちょっと別業務に当たっておりますので、合流でき次第、またご挨拶させていただきたいと思います。

最後に、繰り返しになりますが、私、大気保全課大気担当課長代理の足立でございます。
どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、これ以後の進行は津江委員長にお願いしたいと思います。

委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。

○津江委員長 ご紹介いただきましてありがとうございます。

委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本年度第1回の認定委員会ということで、それでは早速議事に入らせていただきたいと思います。

議事（1）の低NOx・低CO₂小規模認定機器認定申請の状況について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○足立課長代理 事務局よりご説明させていただきます。

まず、資料1をご覧ください。

今回の申請の概要をご説明いたします。

今回は、表の下の内燃機器類というところのガスヒートポンプ1台、1機種について申請をいただいております。代表型式数として1ということで、グレードAAのところで申請をいただいております。

そちらの内容でございますけれども、申請書については今回合わせて郵送させていただい

ておりますので、そちらも併せてご覧ください。

申請の内容でございますけれども、窒素酸化物の削減方式としては、主たるNOxの低減対策としまして希薄燃焼について申請をいただいております。

続きまして、CO₂の低減方式としましては、主たる効率の向上対策としまして、エンジン改善の分類としまして、エンジン効率の改善ということで申請をいただいております。

以上、総合しますと、今回の申請、ガスヒートポンプについてはグレードAAの区分で申請いただいているという状況でございます。

事務局からの説明は以上でございます。

○津江委員長 ありがとうございました。

それでは、何かご意見等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に入らせていただきたいと思いますが、議事（2）の低NOx・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については非公開ということにさせていただきます。

（認定審査のため、非公開）

○津江委員長 それでは、本日の議事は以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

○足立課長代理 ご審議いただきましてありがとうございます。

ここで、同じく事務局で担当いたします東京都環境局環境改善部大気保全課大気担当主任の藤島が合流しましたので、一言ご挨拶させていただきます。

○藤島主任 ただいま紹介にあずかりました大気担当の藤島です。本日、途中からの参加となってしまいまして申し訳ございませんでした。

私のほうからこのまま続けて連絡事項のほうを申し伝えさせていただきます。

連絡事項、1点ございまして、こちらのほうから郵送いたしました口座振替依頼書及び電子データが入ったCD-ROMにつきましては、一式ご返送をお願いいたします。返送につきましては、郵送の際に同封しております返送用のレターパックのほうのご使用をお願いいたします。

連絡事項は以上です。

○足立課長代理 ありがとうございました。

次回以降の認定委員会につきましては、日程調整等、別途ご連絡させていただきます。

では、これをもちまして令和6年度第1回認定委員会を終了させていただきます。

本日は、お忙しい中ご審議いただきまして、ありがとうございました。